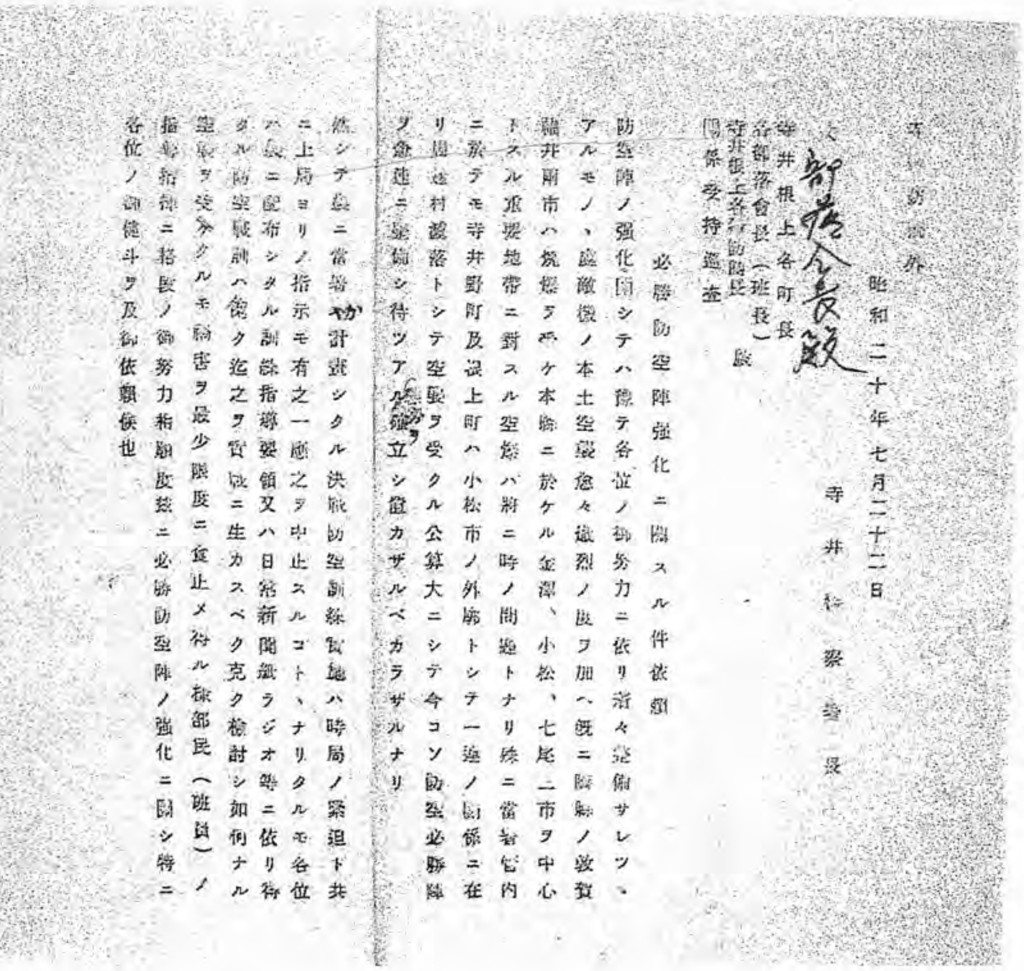
国民義勇隊の結成と警察の関与

昭和二十年七月になると防空は既に警察の関与となり



寺警防發外

昭和二十年七月二十二日

寺井警察署長

寺井根上各町長
各部落會長（班長）
寺井根上各警防團長
關係受持巡査　殿

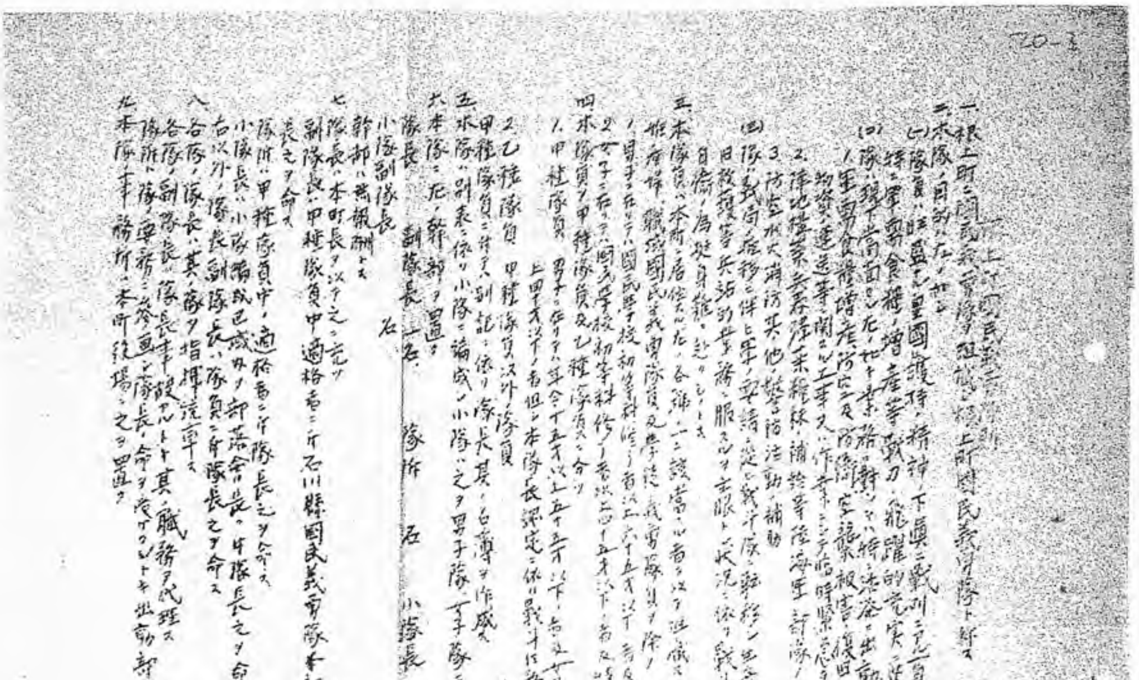
部落会長殿

必勝防空陣強化ニ關スル件依頼

防空陣ノ強化ニ關シテハ豫テ各位ノ御努力ニ依リ漸々整備サレツヽアルモノ、敵機ノ本土空襲愈々熾烈ノ度ヲ加ヘ既ニ隣縣ノ敦賀福井兩市ハ焼燼ヲ受ケ本縣ニ於ケル金澤、小松、七尾三市ヲ中心トスル重要地帯ニ對スル空襲ハ將ニ時ノ問題トナリ殊ニ當署管内ニ於テモ寺井野町及根上町ハ小松市ノ外廓トシテ一連ノ關係ニ在リ農漁村部落トシテ空襲ヲ受クル公算大ニシテ今コソ防空必勝陣ヲ急速ニ整備シ待ツアル態勢ヲ確立シ置カザルベカラザルナリ

然シテ曩ニ當署か計畫シタル決戰防空訓練實施ハ時局ノ緊迫ト共ニ上局ヨリノ指示モ有之一應之ヲ中止スルコトヽナリタルモ各位ハ曩ニ配布シタル訓練指導要領又ハ日常新聞紙ラジオ等ニ依リ得タル防空訓練ハ能ク之ヲ實戰ニ生カスベク克ク檢討シ如何ナル空襲ヲ受クルモ被害ヲ最少限度ニ食止メ得ル様部民（班員）ノ指導指揮ニ格段ノ御努力相願度茲ニ必勝防空陣ノ強化ニ關シ特ニ各位ノ御健斗ヲ及御依頼候也

町長が国民義勇隊の隊長になった。



20-3

一、根上町ニ國民義勇隊ヲ組織シ根上町國民義勇隊ト稱ス

二、本隊ノ目的ハ左ノ如シ

（一）隊員ハ旺盛ナル皇國護持ノ精神ノ下眞ニ戰列ニアル一員トシテ其職任ヲ完遂シ特ニ軍需食糧ノ増産等戰力ノ飛躍的充實ニ邁進スルモノトス

（ロ）隊ハ現下當面シ左ノ如キ業務ニ對シテハ特ニ挺身出動スルモノトス

1. 軍需食糧増産ノ爲ノ防空ニ及ブ空襲被害ノ復舊都市並工場ノ疎開重要物資運送等ニ關スル工事又ハ作業ニシテ臨時緊急ヲ要スルモノ
2. 陣地構築兵器彈藥糧秣ノ補給等陸海軍部隊ノ作戰行動ニ對スル補助
3. 防空水火消防其他ノ警防活動ノ補助

（ハ）隊ハ戰局ノ推移ニ伴ヒ軍ノ要請ニ從ヒ戰鬪隊ニ轉移シ生産輸送築城防空復舊救護等兵站的業務ニ服スルヲ主眼トシ状況ニ依リ戰斗任務ニ服シ以テ郷土自衛ノ爲挺身難ニ赴クモノトス

三、本隊員ハ本町ニ居住スル左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ以テ組織ス但シ病弱者疾病者姙産婦職域國民義勇隊員及學徒義勇隊員ヲ除ク

1. 男子ニ在リテハ國民學校初等科修了以上六十五才以下ノ者及特ニ志願シタル者
2. 女子ニ在リテハ國民學校初等科修了以上四十五才以下ノ者及特ニ志願シタル者

四、本隊員ヲ甲種隊員及乙種隊員ノ二ニ分ツ

1. 甲種隊員　男子ニ在リテハ年令十五才以上五十五才以下ノ者女子ニ在リテハ年令十七才以上四十五才以下ノ者但シ本隊長ノ認定ニ依リ戰斗任務ニ堪ヘ得ザル者ヲ除ク
2. 乙種隊員　甲種隊員以外ノ隊員

五、甲種隊員ニ付テハ別記ニ依リ隊長其ノ名簿ヲ作成ス
本隊ハ別表ニ依リ小隊ニ編成シ小隊ハ之ヲ男子隊女子隊ニ分ツ

六、本隊ニ左ノ幹部ヲ置ク
隊長　一名　副隊長　一名　隊附　若干名　小隊長　名
小隊副隊長　名
幹部ハ無報酬トス

七、隊長ハ本町長ヲ以テ之ニ充ツ
副隊長ハ甲種隊員中ノ適格者ニ付石川縣國民義勇隊本部長ノ承認ヲ受ケ隊長之ヲ命ズ
隊附ハ甲種隊員中ノ適格者ニ付隊長之ヲ命ズ
小隊長ハ小隊編成區域内ノ部落會ノ長ニ付隊長之ヲ命ズ
右以外ノ隊長副隊長ハ隊員ニ付隊長之ヲ命ズ

八、各隊ノ隊長ハ其ノ隊ヲ指揮統率ス
各隊ノ副隊長ハ隊長ヲ補佐シ隊長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
隊附ハ隊ノ要務ニ參畫シ隊長ノ命ヲ受ケ出動部隊ノ指揮ニ任ズ

九、本隊事務所ハ本町役場ニ之ヲ置ク